希望の明日

２００８年７月３１日　１１号

生存権裁判を支援する北海道の会
事務局：北海道生活と健康を守る会連合会
札幌市西区八軒８条東５丁目４－２０
TEL(011)736-1722　FAX(011)736-1688
メール：doseiren@joy.ocn.ne.jp

真夏の暑い日射しが照りつける中、原告・弁護団・道生連を中心に、道社保協、民医連から33名が参加して道行く人々に生存権裁判への支援をよびかけました。45分間で72筆の署名と募金が集まり、真っ先にペンをとった男性からは「この国に憲法はあるのか！」と怒りの声が。母子家庭のお母さんや青年からも激励が寄せられました。

７月２５日　大通り街頭宣伝行動

参加 33 名、署名 72 筆、募金 1,790 円

毎回参加の原告・菊地繭美さんは今回もマイクを握り、「子どもの笑顔のためにたたかっています」と訴え、中島哲弁護士もこの裁判が生活保護制度や最低賃金を守り、引き上げさせることにつながると述べました。

道生連から細川・稲見氏らが、修学旅行費用の捻出に大変な思いをしている原告の声や、義務教育時代に兄弟の世話のため登校もままならなかった青年の話を紹介し、母と子の生活と権利を守ろうと訴えました。

♪トピックス♪

新婦人北海道本部から

根室・稚内・網走・小清水・遠軽・北斗・芽室・深川・留萌・増毛・蘭越・洞爺湖・登別・恵庭・千歳・江別・栗山・南幌・岩見沢・札幌など　全道各地から

464人分の署名が届きました！！